



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 ウイン・パートナーズ株式会社

コード番号 3183 URL <http://www.win-partners.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋沢 英海

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長

(氏名) 村田 裕可

TEL 03-6895-1234

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	36,650	3.4	1,815	4.3	1,827	4.3	1,170	△18.9
26年3月期第3四半期	35,455	—	1,740	—	1,751	—	1,442	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,192百万円 (△18.5%) 26年3月期第3四半期 1,463百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	81.52	—
26年3月期第3四半期	100.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	26,029	11,966	46.0	833.65
26年3月期	26,934	11,233	41.7	782.58

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 11,966百万円 26年3月期 11,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成27年3月期(予想)の期末配当金内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 3円00銭

詳細につきましては、本日(平成27年2月4日)公表いたしました、「配当予想の修正(東証一部指定記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	2.4	2,573	3.8	2,578	3.2	1,659	△9.9	115.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	15,251,655 株	26年3月期	15,251,655 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	897,433 株	26年3月期	897,433 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	14,354,222 株	26年3月期3Q	14,354,222 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表した「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した数値から変更しておりません。
2. 当該業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、消費税率引き上げに伴う需要の低迷や急激に進行した円安による物価上昇の影響等から先行きが不透明な状況が続いております。

医療業界においては、政府の「社会保障と税の一体改革」のもと平成26年4月に診療報酬の改定が実施されました。今回の改定では、特定保険医療材料の償還価格が引き下げられ、当社グループの主力商品であるステントやPTCAバルーンカテーテル、ペースメーカ等の販売価格も下落しました。また、医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等を促進するため、急性期病床を始めとする各種病床の担う機能の明確化、適正な配置等を検討する旨が示されました。加えて、医療法が改正され病床機能報告制度が導入されたことから、当社グループの顧客である医療機関においては、新しい医療政策に対応するため、機能強化や収益性の改善に向けて経営方針の見直しが行われております。

当社グループは、こうした外部環境の変化のなかにもありながらも、取扱商品の拡充等を図り、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。販売数量の拡大により、価格下落を吸収するとともに、規模のメリットを活かしてコスト削減にも取り組みました。さらにグループ内で重複する福島県の営業所を統合し、経営の合理化やエリアマーケティングを強化しました。主力の首都圏だけでなく、東北地域におけるマーケットシェアの拡大を目指して、平成26年9月にはテスコ株式会社(宮城県仙台市)の本社兼倉庫ビルを移転増強しました。

なお、当社株式は平成26年9月16日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から同取引所市場第二部への市場変更を経て、同取引所市場第一部銘柄に指定されました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,650,458千円(前年同四半期比3.4%増)、経常利益は1,827,041千円(同4.3%増)となりました。四半期純利益は1,170,217千円(同18.9%減)となりましたが、これは、前第3四半期連結累計期間に経営統合に伴う負ののれん発生益196,950千円及び段階取得に係る差益180,174千円を計上したことによるものです。

分類別の業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より「その他」に分類していた商品について、商品特性等によって各分類への組み替えをしております。このため、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期実績値を変更後の分類に組み替えて行っております。

・虚血性心疾患関連

薬剤溶出型ステント(DES)やPTCAバルーンカテーテル等の拡販に注力するとともに、一部のPTCAバルーンカテーテルの一括買取により利益率の改善を図りました。償還価格改定に伴い販売単価は下落したものの、新規顧客獲得に注力したこと等により販売数量が伸長したことから虚血性心疾患関連の売上高は15,536,281千円(前年同四半期比1.1%増)となりました。

・心臓律動管理関連

成長分野と位置付け、人員の増強を図り営業活動を強化しました。特に不整脈の治療法であるEPアブレーションに注力し、治療法の啓蒙活動をしたこと等により販売数量が伸長しました。また、MRI型ペースメーカの販売強化も継続して実施した結果、心臓律動管理関連の売上高は7,274,286千円(前年同四半期比12.5%増)となりました。

・心臓血管外科関連

ステントグラフト内挿術や、経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)等の比較的新しい分野を成長市場と位置付け、人員を投入し、新規顧客の獲得と既存顧客への販売数量の拡大を図りました。この結果、心臓血管外科関連の売上高は5,088,418千円(前年同四半期比9.2%増)となりました。

・末梢血管疾患関連及び脳外科関連

経皮的シャント拡張術の症例数が増加したこと等により販売数量が伸長しました。この結果、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は3,162,158千円(前年同四半期比1.2%増)となりました。

・大型医療機器関連

医療施設の新築・増改築の情報を早期に収集し、地域の市場分析を行い、受入患者数の増加に寄与し得る設備投資の提案を行いました。しかしながら、消費税率引き上げの影響を受け、大型医療機器関連の売上高は2,327,282千円(前年同四半期比24.5%減)となりました。

・その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡充を図りました。この結果、糖尿病関連商品であるインスリンポンプのレンタルの普及が進んだほか、消化器系の商品の販売も増加し、その他の売上高は3,262,030千円(前年同四半期比18.6%増)となりました。

(注)主な分類別の取扱商品は以下のとおりであります。

分類	取扱商品
虚血性心疾患関連	当社グループの主要商品群であり、心筋梗塞や狭心症といった虚血性心疾患の治療に使用されるカテーテル等の医療機器であります。これらの医療機器を使用した治療は、患者の身体に対する負担が少ないことから、「低侵襲治療」と呼ばれております。 ＜薬剤溶出型ステント(DES)、PTCAバルーンカテーテル、血管内超音波(IVUS)診断カテーテル等＞
心臓律動管理関連	不整脈の治療に使用される医療機器であります。 ＜ペースメーカ、植込型除細動器(ICD)、両室ペースング機能付き植込型除細動器(CRTD)、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル等＞
心臓血管外科関連	心臓疾患を治療するための外科手術の際に使用される医療機器であります。 ＜ステントグラフト、生体弁、人工血管、人工心肺等＞
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	末梢血管や脳血管の疾患を治療するために使用される医療機器であります。 ＜PTAバルーンカテーテル、末梢血管用ステント、塞栓用コイル等＞
大型医療機器関連	放射線科や手術室等で使用される医療機器であります。 ＜X線血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置(CT)、磁気共鳴画像診断装置(MRI)、麻酔器等＞
その他	上記以外の医療機器等であります。 ＜インスリンポンプ、血圧トランスデューサーセット、血圧モニター用チューブ等＞

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べ904,958千円減少し、26,029,444千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が383,803千円、商品が818,023千円、有形固定資産が291,401千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が2,767,945千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,637,958千円減少し、14,063,066千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,310,704千円、未払法人税等が296,057千円、賞与引当金が102,331千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ732,999千円増加し、11,966,378千円となりました。これは四半期純利益により1,170,217千円増加した一方、前期の配当金の支払により459,335千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、顧客のニーズに合わせた提案や支援を行うことで新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力したほか、主力商品の一括買取による利益率の改善を図ったこと等により概ね計画どおりに推移しました。

従いまして、通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,563,824	5,795,879
受取手形及び売掛金	13,798,423	14,182,227
商品	1,124,223	1,942,246
その他	437,147	853,246
貸倒引当金	△640	△690
流動資産合計	23,922,978	22,772,909
固定資産		
有形固定資産	2,062,112	2,353,514
無形固定資産	308,231	267,523
投資その他の資産	641,080	635,496
固定資産合計	3,011,424	3,256,534
資産合計	26,934,403	26,029,444
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,276,288	12,965,584
未払法人税等	500,743	204,686
賞与引当金	209,411	107,079
その他	340,498	369,695
流動負債合計	15,326,941	13,647,045
固定負債		
退職給付に係る負債	373,032	415,495
その他	1,050	525
固定負債合計	374,082	416,020
負債合計	15,701,024	14,063,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,000	550,000
資本剰余金	2,272,369	2,272,369
利益剰余金	8,867,869	9,578,751
自己株式	△537,809	△537,809
株主資本合計	11,152,429	11,863,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,949	103,066
その他の包括利益累計額合計	80,949	103,066
純資産合計	11,233,378	11,966,378
負債純資産合計	26,934,403	26,029,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	35,455,036	36,650,458
売上原価	30,811,618	31,768,617
売上総利益	4,643,418	4,881,841
販売費及び一般管理費	2,903,114	3,066,024
営業利益	1,740,303	1,815,817
営業外収益		
受取利息	452	509
受取配当金	6,255	7,027
不動産賃貸料	2,738	1,627
その他	2,332	2,831
営業外収益合計	11,778	11,995
営業外費用		
支払利息	98	71
その他	347	700
営業外費用合計	446	772
経常利益	1,751,636	1,827,041
特別利益		
固定資産売却益	146	4,301
負ののれん発生益	196,950	-
段階取得に係る差益	180,174	-
特別利益合計	377,272	4,301
特別損失		
投資有価証券評価損	537	-
その他	281	1,458
特別損失合計	819	1,458
税金等調整前四半期純利益	2,128,089	1,829,884
法人税等	685,869	659,667
少数株主損益調整前四半期純利益	1,442,219	1,170,217
四半期純利益	1,442,219	1,170,217

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,442,219	1,170,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,633	22,117
その他の包括利益合計	21,633	22,117
四半期包括利益	1,463,852	1,192,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,463,852	1,192,334

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。